

水利施設等保全高度化事業 畑地帯総合整備中山間地域型【常呂第3土佐地区】

事業の概要

○目的

本地区は北見市北東部に位置しており、畑作3品（小麦・てんさい・ばれいしょ）を主体とした大規模畑作経営が展開されているほか、たまねぎなどの野菜類の生産が行われている。海岸沿いに位置する本地区は、泥炭土、重粘土が広く分布しており、排水対策や作業効率向上のための土壌改良が必要な地域である。区画整理、暗渠排水、客土を実施して作物生産の高品質化と安定供給を図るとともに営農作業の省力化を促進し、担い手への農地の集積を促進する。

○概要

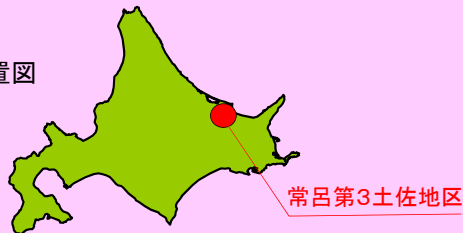
事業名 水利施設等保全高度化事業
(畑地帯総合整備中山間地域型)

ところだいさんとさ
地区名 常呂第3土佐地区
関係市町村 北見市常呂町
事業工期 令和2年度～令和10年度
総事業費 2,682百万円
受益面積 683.5ha
主要工事 区画整理 A=662.9ha
排水路横断管 14箇所

○令和3年度当初要求額

国費 66.467百万円
事業費 122.434百万円

○位置図



本地域の現状



特殊土壌による排水性の悪いほ場



畑の窪地による生育不良の様子

基盤整備による期待される効果

暗渠排水により排水性改善や作業効率が向上



客土により土壌保水性の改善



本地区の取組状況

基盤整備の効果によって収量・品質が安定したことで北見産たまねぎの輸出が進んでいる



北見市、きたみらい農協、常呂町農協などをつくる「北見産農産物輸出促進協議会」が今年収穫されたたまねぎをロシア極東に輸出している。本年度は、ボルシチ用などの需要を踏まえ、平成30年度より60トン多い180トンの輸出を目標に掲げている。

